

保育計画成果報告書

法人名等	医療法人 尾崎医院
施設名	ぶちはうす キララ保育園
報告者（役職）	木村 隆子（園長）
住所・連絡先	大阪府東大阪市瓜生堂 1-5-29
	☎ 072-964-5554
	E-mail Oz-kirara@dune.ocn.ne.jp

○タイトル（保育計画）

キララプロジェクト！！～遊ぼう！！見よう！！奏でよう！！～

○主な助成備品

木製(はしご、滑り台、小型柁 大・小・ふた)、ウェブバランス平均台、レインボーバランスストーン、らくらくマジックマット、パラシュート、楽器一式(カスタネット、鈴、タンブリン、モンキータンブリン、ハンドウッドブロック、トライアングル、マラカス)、紙芝居台、紙芝居(「いないいないばあ」「みんなにここに」「いいかお」)絵本(「ひろかわさえこ」シリーズ「これなあに、かたぬきえほん」「はじめてえほんシリーズ」「新しいいないいないばあ」「あかちゃんのりものえほん全4巻」「あかちゃんのりものえほんシリーズ」「めんこいあかちゃんシリーズ」「トイレにいこうね」「はみがきしようね」)

1. 保育計画策定の目的

当園は待機児童が多い現状や保護者の子育てと仕事の両立の支援をしたい、女性の生き方の多様性を応援したいとの思いで、平成28年4月、小規模保育園を開設しました。

新設園の為、牛乳パックでトンネルを作ったり、クッションや布団などで山を作ったり、ミルク缶で太鼓を作ったりと用品を手作りしてしていました。このように、子どもたちの発達段階に適した遊具、絵本、紙芝居、楽器などの保育用品が不足しているため、運動用品と楽器と絵本類を購入させていただきました。

運動器具は子どもたちの発育発達の特徴にあった使い方をすることで、乳児期にとって大切な身体能力や運動機能や身体のコントロール能力を養うことを目的としました。

その成果として「親子で遊ぼう！！」というミニ運動会で保護者にも見てもらう事を目標としました。

楽器は実際に生の楽器の音を聴くことで音に対する興味関心をひき付け、聴覚の発達やリズム感を養い、実際に触れて音を鳴らすことでより楽しさを知ることが目的としました。

音を鳴らすだけではなく、歌や音楽に合わせてリズムをとって鳴らす、また楽器の持ち方や鳴らし方を教えることを目標としました。

絵本と紙芝居は観ることの楽しさを味わいながら、発語を引き出し、大きな画面の紙芝居をお友だちと一緒に楽しみ共感することを目的としました。

絵本の楽しさを知っていく中で、子どもたち自身が絵本や紙芝居に興味を示し、絵本は実際に手に取り指先を使いめぐり、絵を観る楽しさを感じ、好きな絵本が出来て保育者にリクエストすることを目標としました。

◎運動器具について

2. 実施内容



マットの上、トンネルやお山を作って、ハイハイをしたり、転がったりとバランス感覚が身に付くようにしました。ウェブバランスは上に乗る事から始め、ハイハイや歩いて進んだり、形を変えながら円形の中にボールを入れて「ボールプール」にして遊んだり、家に見立てて「ごっこ遊び」を楽しんだりと組み合わせながら遊びを展開しました。巧技台と

滑り台とはしごは、組み合わせながら滑り台として使ったり、巧技台はマットと組み合わせて上に乗ってジャンプをしたり、はしごは横に寝かせてトンネルとして、また立てて登れるようにしたりと単独でも遊べるようにしました。それぞれの器具を組み合わせ「サーキット」を作り、室内でも十分に身体を動かして遊びました。



3. その成果と評価



年齢や発達に合わせて使い方や遊び方を変えていく中で、身体の各部位を動かし、力を養うことが出来ました。また、バランス感覚や身体のコントロール能力も養うことが出来ました。何より、これらの遊具を使う事で室内でも身体を十分に動かす事を楽しめました。また、何度も繰り返し行う事で運動に対する苦手意識がなくなり、恐怖感も克服しながら運動への自信や意欲も身についたと思います。

子どもがのびのびと遊ぶ中で、準備中は待つことが出来たり、順番が待てたり、運動をしていく中でお友だちから励まされ協調性という運動面以外でも子どもたち一人ひとりの成長を見ることが出来ました。そういった成果を「親子で遊ぼう!!」という形で保護者の方にも見て頂くことが出来ました。



4. 今後の課題と展望

これまで、日々の遊びの中で取り入れてきたことを継続していくことで、年齢が上がるにつれて子どもたちの出来ることも増えていき、自信と更なる意欲へと繋げていけるようにしていきたいと思います。また、0歳児から2歳児まで見通しを持って、遊びを計画していきたいと思います。これからも、これらの遊具の使い方を日々考えていながら、より良く身体を動かしていきたいと思います。「親子で遊ぼう!!」から「運動会!!」と言えるように行事も充実させていきたいと思います。

◎楽器遊びについて

2. 実施内容



日々の保育で歌や手遊びの際、保育者が楽器を使う事で興味をひき付ける事から始め、実際に子どもたちが楽器に触れ音を出すことを楽しみました。楽器を鳴らすことを繰り返していく中で歌に合わせて鳴らすことで、リズム感が身に付くようになりました。

0歳児は楽器に触れて、いろいろな音を鳴らし聴くことを楽しみました。1、2歳児も楽器に触れ、音を鳴らすことから始め、楽器の持ち方や鳴らし方を教えていきました。歌を歌いながら鳴らすことで、リズム打ちもしました。また、「お誕生日会」など、みんなが見ている前で、簡単な歌に合わせてカスタネットを鳴らして披露もしました。

3. その成果と評価

生の楽器の音に触れることで音に関する興味関心も広がったのではないかと思います。実際に楽器に触れ、思い思いに鳴らすことが出来ました。また、みんなと一緒に楽器を鳴らすことも出来ました。子どもが楽器に興味を持ち、自発的に鳴し、喜びや達成感、みんなの前で披露することで自信にも繋がったのではないかと思います。1、2歳児は楽器を使う上での約束事や大切に扱う事も少しは学べたのではないかと思います。また、音感、リズム感、表現力も少しは身に付いたのではないかと思います。

4. 今後の課題と展望

今後も日々の保育の中で楽器に触れる機会を継続していく中で0、1、2歳児と出来る事も増やしていき発達の見通しを持っていきたいと思います。楽器を使つての「音当てゲーム」や保育者の動作を見て、音を出したり止めたりという簡単なゲームにも使いたいと思います。また、もっといろいろな場面で子どもたちがみんなの前で合奏する機会も増やしていき、自信や意欲へと繋げていきたいと思います。その他にも行事にも楽器を使っていけるように考えていきたいと思います。子どもたちが



楽器を鳴らす事も大切にしながら、保育者も子どもたちの前で楽器を使って演奏するという機会を作り、お誕生日会やクリスマス会などで合奏を聴いてもらい、聴く楽しさも感じられるようにしていきたいと思います。

◎絵本と紙芝居について

2. 実施内容

絵本は一対一での読み聞かせから全体での読み聞かせをしました。子どもたちが絵本に触れる機会も作り、指先を使ってめくり楽しみました。絵本の中に出てくる動物や車や電車の模倣遊びやリズム遊びに発展させて遊びました。食事や排せつなどの生活習慣に関する絵本や紙芝居を読み聞かせながら導入などに使いました。紙芝居は絵本とは違い机や台の上に置いて大勢のお友だちと一緒に見られるようにしました。



3. その成果と評価



絵本は一対一で読み、保育者とのやりとりを楽しみ、毎日繰り返し読むことで、言葉を覚え物の名前を知ることが出来ました。言葉の発語へと繋げることが出来ました。絵本を使って、簡単なコミュニケーションが取れるようになりました。全体での読み聞かせでは、お友だちと一緒に楽しさを共感しながら見ることが出来ました。子どもたちが絵本に触れることで、色々な物に興味を示しながら、指先を使ってめくり楽しむことも出来ました。絵本を通して、動物や色々な物に興味関心が広がり、それらを模倣して表現をしながら遊ぶことも出来ました。また、絵本を読みながらリズムに合わせて身体を動かして楽しむことも出来ました。表現力、想像力、集中力を育むことが出来たのではないかと思います。その他にも生活習慣に関することも絵本や紙芝居を通して解りやすく知ることが出来たと思います。

4. 今後の展望と課題

0, 1, 2歳児とそれぞれの月齢や発達にあった絵本、紙芝居選びをしていきたいと思っています。継続して、日々の生活の中で繰り返して読み聞かせをしていくことで、更なる言葉の獲得を増やしていきたい。また、絵本を通して言葉のやりとりや子ども同士の共感関係を深めていき、1, 2歳児は絵本の世界に入りながら表現遊びがより出来るようにしていきたいと思っています。

これからも、絵本を通してお友だちの繋がりや関わりが広がるように活用していきたいと思っています。

以上